

# めぐみイエス・キリスト教会

2020年11月29日(日)第五主日礼拝  
週報「通算第534号」



## 2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節~18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時~11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時~(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌258「墨よりも黒き心なれど」 p. 402

【交読文】 No.1詩篇第1篇 p. 879

【賛美Ⅱ】 新聖歌439「険しき山道か」 p. 710

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.13「主をほめたたえ続けよ」

【聖書朗読】 使徒の働き7章46節～69節(2017新約p. 247上段)

【礼拝説教】 《ステパノの殉教》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※聖書箇所 使徒の働き7章46節～60節

7:46 ダビデは神の前に恵みをいただき、ヤコブの家のために、幕屋のどまるところを求めました。

7:47 そして、ソロモンが神のために家を建てました。

7:48 しかし、いと高き方は、手で造った家にはお住みになりません。預言者が語っているとおりです。

7:49 『天は私の王座、地は私の足台。あなたがたは、私のためにどのような家を建てようとするのか。(主の言葉)私の安息の場は、いったいどこにあるのか。』

7:50 これらすべては、私の手が造ったものではないか。』

7:51 うなじを固くする、心と耳に割礼を受けていない人たち。あなたがたは、いつも聖霊に逆らっています。あなたがたの先祖たちが逆らったように、あなたがたもそうしているのです。

7:52 あなたがたの先祖たちが迫害しなかった預言者が、誰かいたでしょうか。彼らは、正しい方が来られることを前もって告げた人たちを殺しまし

たが、今はあなたがたが、この正しい方を裏切る者、殺す者となりました。  
7:53 あなたがたは御使いたちを通して律法を受けたのに、それを守らなかったのです。」

7:54 人々はこれを聞いて、はらわたが煮え返る思いで、ステパノに向かって歯ぎしりしていた。

7:55 しかし、聖霊に満たされ、じっと天を見つめていたステパノは、神の栄光と神の右に立っておられるイエスを見て、

7:56 「見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます」と言った。

7:57 人々は大声で叫びながら、耳をおおい、一斉にステパノに向かって殺到した。

7:58 そして彼を町の外に追い出して、石を投げつけた。証人たちは、自分たちの上着をサウロという青年の足もとに置いた。

7:59 こうして彼らがステパノに石を投げつけていると、ステパノは主を呼んで言った。「主イエスよ、私の霊をお受けください。」

7:60 そして、ひざまずいて大声で叫んだ。「主よ、この罪を彼らに負わせないでください。」こう言って、彼は眠りについた。

●ポイント1.ステパノが引用した預言書とは？

※イザヤ書66章1節～2節前「イザヤ書最後の章から」(旧約p.1279下段)

●ポイント2.「神の栄光と神の右に立っておられるイエスを見て」とは？

※ヨハネの福音書14章18節「主イエス様の約束」 (新約p.214下段)

14:18「私は、あなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻って来ます。」

●ポイント3.「ステパノの最後の言葉」とは？

※ルカの福音書23章46節および34節前「イエスの言葉」(新約p.170下段)

23:46 イエスは大声で叫ばれた。「父よ、私の霊をあなたの御手にゆだねます。」こう言って、息を引き取られた。

23:34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ、彼らをお赦し下さい。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」

## ◎先週のメッセージの概要【ステパノの弁明Ⅲ(一人の預言者)】

《ステパノの弁明から3回目となります。神様がモーセに約束された「預言者」こそが、主イエスであることを、ステパノは立証しようとしているのです。

申命記には、『私は彼らの同胞のうちから、彼らのためにあなたのような一人の預言者を起こして、彼の口に私の言葉を授ける。彼は私が命じることすべてを彼らに告げる。』と書かれています。バプテスマのヨハネが宣教を開始した時、議会は調査団をエルサレムから遣わしました。

「あなたはどなたですか」「私はキリストではありません」

「それでは、何者なのですか。あなたはエリヤですか。」「違います」

「では、あの預言者ですか。」「違います」

弁明の中でステパノは、アロンが造った金の子牛について言及し、ダビデの子ソロモンが背教したことをアモス書から説明しています。

ステパノはイスラエルの歴史を辿ることによって、旧約聖書が預言している「預言者」が、主イエス・キリストであることを解き明かしているのです。

また、『モーセは、シナイ山で彼に語った御使いから、私たちに与えるための生きたみ言葉を授かりました。』ことについて語っていますが、この「生きたみ言葉」こそは、十戒を指し示し、律法、すなわちモーセ五書のことを指しています。しかしステパノがここで本当に言いたいことは、「生きたみ言葉」とは、主イエスであるということなのです。

使徒ヨハネはこう証しています。『初めに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。この方は、初めに神と共におられた。』と。この「言葉」こそが人となられた主イエスであることを証しているのです。

私たちクリスチャンは、日々、この「生きたみ言葉」に触れる必要があります。この暗黒の時代にこそ、「生きたみ言葉」によって養われる必要があるのです。なぜなら私たちは霊的存在だからです。私たちの霊が主イエス様の命に満ち満ちているならば、私たちの魂もそして体も霊に従って、健やかなはずなのです。そして、私たちは「光の子ども」なのです。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は12月6日(日)教会において行ないます。聖書勉強会と祈り会は、年末まで毎週水曜日に各家庭において行ないます。